

てんかん・機能神経外科

2024年1月にてんかん・機能神経外科を設立し、2024年10月にはてんかん・機能神経外科、脳神経外科、小児科、精神科と複数診療科で連携をとるベテルてんかんセンターを設立した。2025年2月にはてんかん診療支援コーディネーターの資格を看護師3名が取得された。

2024年2月から長時間ビデオ脳波検査を導入し、現在是对応する脳波計は1台であるが、フル活用し、小児科も含め、現在69名のモニタリングを行ってきた。2024年9月からロボット支援下（ROSA-one）での定位的頭蓋内脳波（SEEG）電極留置術を開始した。現在のところ3名の手術を施行したが、これまでの硬膜下電極での電極留置術と比較し、患者さんの痛みの訴えが断然に軽減され、我々も衝撃をうけた。また、2024年度は迷走神経刺激装置植え込み術が14例、交換術が13例であり、昨年同様に国内No.1の件数であった。

2024年10月には日本てんかん学会認定研修施設、日本臨床神経生理学会認定教育施設が認定された。今後、日本てんかん学会包括的てんかん医療施設の認定取得をめざす。複数科での診療連携・診療レベルの向上のみならず、患者さんへの支援サービスやアドバイスの提供、地域連携にも着手し、てんかん患者さんのよりよいQOL維持に貢献していく。

（部長 山添 知宏）

・医師数	3名	・専攻医	0名
・初期研修医	0名		

（2025年4月現在）